

第434回白石市議会定例会 一般質問通告書

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|----------------|---|-----------|
| 1 | 11番 四 籠 英 夫 | <p>1. 施政方針について</p> <p>(1) 学校教育の充実について、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子供たちに対して、確かな学力の育成を図るため平成31年度を「教育改革元年」と位置づけ、さまざまな施策を展開すると述べられておりますが、この方針を取り上げるに至った経緯と市長の思いをお聞かせ下さい。</p> <p>① いつ頃までにどの位のレベルに引き上げようとお考えなのかお伺いします。</p> <p>② 去年は斎川小学校が統合され、今年南中学校と白川中学校が統合されます。これらの統合により、児童・生徒の学力への影響についてどのように考えておられるのかお伺いします。</p> <p>(2) 4月オープン予定の農産物等販売施設「おもしろい市場」は、農産物、特産物の販売拠点として期待されていますが、品揃えや安定的な数量を確保するための方策はどのように考えておられるのかお伺いします。</p> <p>(3) 観光客受け入れのための施設の整備について、交流人口の拡大を図るため観光客誘客を積極的に進めるとありますが、公園などのトイレや水道の整備が十分でないとの声があります。観光客や市民の皆様が不便を感じることはないような施設の整備が必要です。施設全般の点検を行い観光シーズンに備えるべきと思いますが、いかがでしょうかお伺いします。</p> <p>(4) 益岡公園野球場の改修工事について、3年前から改修工事に取り組んでいる事業ですが、進行ができております。国や県との関係から思うように進まない事情はあると思いますが、市民の皆様は1日も早い完成を待っています。</p> <p>事業完成を図るに当たって、今後どのような対策を取られるのかお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>2. 児童虐待防止対策について</p> <p>(1) 児童虐待により幼い命が失われる事件が相次いでいます。目を覆い耳を塞ぎたくなるような悲惨な事件に胸を締めつけられる思いがいたします。こうした事件が発生するたびに、再発防止に向けた対策を講じることが、学校や関係機関から発表されておりますが、事件はなくならず繰り返されています。昨年虐待の疑いで警察が児童相談所に通告した件数は8万件を超えたとの報道があります。本市においてはそうした事件は起きていませんが、児童虐待や育児放棄などの防止にどのような対策を講じておられるのかお伺いします。</p> <p>(2) もし、そうした事案を知ったときは、どのような対処を行うのかお伺いいたします。</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|---|-----------|
| 2 | 12番 小川正人 | <p>1. 財政について 今年は市税の1.2%増が見込まれていますが、やはり10,000円、いや1,000円でも収入がふえる施策を検討しなければならないと思うところは、市長も私も同じだと思います。 そこで以下の点についてお伺いします。 (1) 過去に同僚議員より『自主財源の確保』について一般質問がなされていますが、その後自主財源としてどのような施策を検討、もしくは実施をしているのかお伺いします。 (2) 蔵王町では野球場のグラウンドフェンスに企業広告を募集しています。1区画36,000円であります。本市でも益岡公園野球場で検討すべきであり、また、市の駐車場やキッズランド等の空きスペースを利用して、積極的に民間の広告を募集すべきだと考えますが、市長の所見をお伺いします。 (3) 市の施設のネーミングライツの活用について検討する考えはあるのかお伺いします。</p> <p>2. 人材育成について 今年も4月になれば何人かの新人職員が入庁してきますが、その職員の能力を最大限に引き出すことが必要です。 山田市政を推進していく上で欠かすことのできない人材であります。そのような人材を育てるために欠かすことのできないものが「教育」ですので、私は民間の考えを取り入れた教育も必要かと思えます。 現職員も含めて、市長はどのような教育の方法を考えているのかお伺いします。</p> <p>3. 防災対策について 市民が政治に求めるものは、「安心」「安全」の保障だと思います。 そこで以下の点についてお伺いします。 (1) 市長の施政方針にも、このことが明確にうたっており安心しましたが、「地域備蓄」「家庭備蓄」の他に、「行政備蓄」として、指定車両を設け、常にガソリンを4分の3以上満たしておくべきと考えますが、いかがでしょうかお伺いします。 (2) 「家庭備蓄」として、常にガソリンを2分の1以上に満たしておくよう「広報しろいし」へ年に数回PRしてみてもいかがでしょうかお伺いします。</p> | 市長 |
| | | | 市長 |
| | | | 市長 |
| 3 | 1番 佐藤龍彦 | <p>1. 平成31年度施政方針について 先日、市長により示されました施政方針の中から、特に「学校教育の充実」の分野についてお伺いします。 (1) 施政方針において、市長は確かな学力の育成を図るため、平成31年度を「教育改革元年」と位置付けると述べていますが、具体的にどのように取り組ん</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|---|-----------|
| 3 | 1番 佐藤龍彦 | <p>でいく考えなのかお伺いします。</p> <p>(2) 市内全ての小中学校で「探求の対話(p4c)」の実施「ユネスコスクール」加盟校としての実践活動に取り組み、協調性を育み表現力豊かな児童・生徒の育成に努めるとのことですが、具体的な取り組みについてお伺いします。</p> <p>(3) 学校施設は、施設や設備の修繕工事を実施することにより、学校生活における児童・生徒の安全を確保するとのことですが、具体的にどのように取り組んでいく考えなのかお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>2. 「置き勉」について</p> <p>最近、保護者の方から子供たちが学校に持っていく荷物が重いとの声が寄せられました。実際にカバンを持ってみるととても重く、通学カバンの中を見せてもらうとランドセルいっぱい教科書などが詰まっています。</p> <p>「脱ゆとり教育」へ方向転換後の2011年度以降、教科書の大判化やページ数の増加が進んでおり、教科書などの入ったランドセルや通学カバンの重さが、子供の発育や健康に影響を及ぼす可能性があるとして問題視されています。</p> <p>この「置き勉」を校則で禁止している学校も多いとのことですが、保護者などの声を受け、「置き勉」を認める動きが全国の小中学校、自治体で広がりを見せています。</p> <p>(1) 本市は、子供たちのランドセル、通学用カバンの重さについてどのように認識しているのかお伺いします。</p> <p>(2) 本市は、「置き勉」について子供たちにどのような指導をしているのかお伺いします。</p> <p>(3) 本市は、今後、子供たちのランドセル、通学用カバンの重さへの解決策をどのように考えているのかお伺いします。</p> | 教育長 |
| | | <p>3. 地域支えあいによる「ごみ出し」について</p> <p>本市の高齢化率も30%を超え、本市に住んでいる3人に1人が65歳以上となりました。超高齢化社会へ移行する中で、地域で見守ること、手助けをすることなどの支え合う活動が重要となってきています。現在、本市においてもごみ出しをするのも困難となっている高齢の方もふえています。そのような中、県内でも有償によるボランティアとして、「ごみ出し」を支援する自治体もあるようです。支援を受ける側の高齢者の方からも「ボランティアでは気が引ける」「有償であれば頼みやすくなる」との声も寄せられているとのこと。また、障害のある方も対象として同様の支援を受けられる自治体もあるようです。</p> <p>(1) 本市は高齢者、障害者の「ごみ出し」について、</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|---|---------|
| 3 | 1番 佐藤龍彦 | <p>どのような認識を持っているのかお伺いします。</p> <p>(2) 「ごみ出し」支援について、県内の自治体の動きについてお伺いします。</p> <p>(3) 今後、本市は「ごみ出し」について支援策を検討する考えはないのか伺います。</p> <p>4. 放射能汚染廃棄物（農林業系）の本焼却について</p> <p>以前にも放射能汚染廃棄物（農林業系）について質問させていただいておりますが、1キログラム当たり8,000ベクレル以下の放射性廃棄物の処理について、試験焼却も終了したことから再度質問いたします。</p> <p>報道等によりますと、仙南地域広域行政事務組合は5月中旬にも本焼却を始める方針のようです。このことは、先日の市長による施政方針でも本焼却の実施に向けて、国や県、関係市町との連携を深めていくと述べられていました。</p> <p>(1) 施政方針で仙南地域広域行政事務組合が策定した「農林業系廃棄物試験焼却計画書」に定める環境基準値以下であったことから、処分の安全性を確認したとのことでしたが、「安全」と判断した根拠についてお伺いします。</p> <p>(2) 本市は、最終処分場で使用している遮水シートの耐久性など安全面について、どのように認識しているのかお伺いします。</p> <p>(3) 本市は、仙南地域広域行政事務組合に対し、水質検査や土壌検査等、検査項目の追加や検査の頻度をふやすなど、検査の強化を図るよう要望したことはあるのかお伺いします。</p> <p>(4) 本市でも本焼却前に住民説明会を実施する考えはないのかお伺いします。</p> | 市長 |
| 4 | 4番 澁谷政義 | <p>1. 平成31年度施政方針について</p> <p>平成31年度施政方針、産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちについて、次のことをお伺いします。</p> <p>(1) 企業誘致について、過去に幾度か議論がありました。特に工業団地造成等について、第423回定例会での答弁内容では、土地造成を含めた事業用地を創出するというのも慎重に検討しなければならないと答えています。平成31年度施政方針では、新たな工業団地の造成に向けて検討を開始すると、一歩踏み込んだ内容でした。その真意をお伺いします。</p> <p>(2) 有害鳥獣対策について、本市の有害鳥獣被害対策実施隊隊員は市長より任命を受け、わな及び銃器により捕獲、個体数の調整を行っています。今後も各補助を継続し、被害防止対策の強化に努めるとしてはいますが、実施隊員の中には、箱わな製作の被害防止補助金が3年に1基しか申請できない現状に対し、毎年助成を受けて箱わなを製作し被害防止に寄</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|---|---------|
| 4 | 4番 澁谷政義 | <p>与したい強い要望があります。これに対し市長の見解をお伺いします。</p> <p>(3) 農地中間管理事業について、事業を活用し農地集積を推進し生産現場の強化と耕作放棄地の発生防止に努めるとの方針ですが、本市は生産現場へどのような支援策を考えているのかお伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>2. 市道高畑線整備について</p> <p>国道4号沿いの福岡長袋地内には、近年大型スーパーや飲食店が相次いで出店し、さらには本市の地方創生事業「農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業」が進められております。また、今秋にはJA白石地区本部・支店及び農機センターの営業開始が予定されています。</p> <p>当地は城南八幡町エリアに次ぐ、本市の第二の商業エリアとなってきましたが、現在、大型スーパー等の主要な出入り口と接続する「市道高畑線」で発生する交通量は、処理できない状況となっています。</p> <p>実際、道路両側から店舗への出入りで、交通渋滞が発生し、危険を感じる状況になっており、今後ますます交通量がふえることが懸念されています。</p> <p>住民の安全と交通の円滑性を図るためにも、早急に市道の改良工事（右左折レーンを含め）を検討すべきと思いますが、市長の所見をお伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>3. 白石和紙保存について</p> <p>本市には、藩政時代に伊達政宗公が奨励し、片倉小十郎公のもとで磨かれた「白石和紙」があります。白石和紙は、日本全国にも、また世界中にも例を見ない原料「虎斑楮」のみを用い、歴史を歩んできた和紙です。その紙漉きの消滅の危機を市民グループ「蔵富人」が引き継ぎ、伝統の工程を継承しております。行政も支援をしていますが、歴史ある文化財産を、今後どのようにして未来につないでいくか、市長の所見をお伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>4. 学習状況調査について</p> <p>本市教育委員会は、平成30年9月5日に全国学力・学習状況調査結果概要として市のホームページに公表されました。文部科学省の調査目的は、児童・生徒の学力状況を把握するとともに、調査結果を分析し授業の結果と課題などを検証し、授業及び教育施策の改善に結びつけ義務教育における検証改善サイクルを確立することにあると述べております。</p> <p>そこで、検証改善サイクルの確立は行われたのかお伺いします。</p> | 教育長 |
| 5 | 5番 沼倉啓介 | <p>1. 財政運営について</p> <p>施政方針の中で、本年度を大きな転換の年と位置づ</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|--|---------|
| 5 | 5番 沼倉啓介 | <p>け、厳しい財政状況の中でも市政課題を先送りすることなく、将来にわたり持続可能であり続けることができるよう各種施策を積極的に推進すると表明されました。</p> <p>それらの実現の裏づけとなる予算が第21号議案で提案され、質疑が交わされています。</p> <p>本市の予算組みをする上での指針となる国の地方財政対策においても、地方交付税等地方の増収が図られてもいますが、臨財債の抑制等一抹の懸念が残るもののおおむね地方にとっては満足のいくものであると思います。固く仕上げられたそのような中でも、前年比3.3%減の当初予算の編成の必要性は、自主財源の増加がなかなか見込めないなど、さまざまな工夫努力にとってはごく本来のことなのかもと認識できます。</p> <p>それらは、平成29年度の当初予算及び決算額に到達するまでのプロセスからもかいま見ることができます。それらの帰結を迎えるまでのなみなみならぬ努力の一端をお聞かせください。</p> <p>(1) 市民サービス低下を伴わない財政運営には絶対的な必須努力はあるのか、お伺いします。</p> <p>(2) その努力には何らかの有形無形の犠牲は伴うのか、お伺いします。</p> <p>(3) 先般の質疑の中でも当初予算の編成には、なみなみならない努力の必要性が述べられていたが、そこには市民の責務、理解、協力の必要性は存在しないのか、お伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>2. 「祭り」と「まちづくり」について</p> <p>本市でもさまざまな祭りの開催により、多くの交流人口の増加が図られていることは、言及に及ばないことではあります。</p> <p>過般、「白石夏まつり」の大会事務局を白石商工会議所が返上した旨の話が、市民の方々とのお話の中で話題として出されました。花火大会もなくなって、「今度は白石夏まつりも」との惜しむ声が聞かれた瞬間でした。</p> <p>祭りを通して多くの市民の方々と共有の時間と空間を通してコミュニケーションを深め、街への理解を生み、ひいては活気とにぎわいの創出を生み出すものであると理解をしています。</p> <p>今申し上げた「白石夏まつり」の事柄について、開示できる範囲での政策的見解をお聞かせください。</p> | 市長 |
| 6 | 6番 平間知一 | <p>1. 高齢者の生活支援について</p> <p>白石市の人口は、平成31年1月末時点で34,207人となっております。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年の人口推計では、後期高齢者が6,821人となっております。一方で、74歳以下の人口は減少し続けているため、2025年には後期高齢者1人を、15歳</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|--|---------|
| 6 | 6番 平間知一 | <p>から74歳までの方4人で支えることが予想されます。高齢化が年々進んでおり、私たちがいまだ経験したことのない超高齢化社会を迎えようとしています。75歳を超えると介護の必要度が急激に上昇し、超高齢化社会における介護は必要不可欠です。</p> <p>また、要介護認定を受けている方は、6割以上の方が「自宅で介護してもらいたい」と自宅での暮らしを望んでいます。</p> <p>市民が安心して暮らせる豊かな老後暮らしをしていくにはどうすればよいのかという問題点があります。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>(1) 家庭ごみの搬出の協力、日用品の買い物の手助け、冬季の通路の除雪、融雪などを、1人暮らし高齢者、老老介護世帯、80歳以上の高齢者世帯、体の不自由な高齢者がおられる世帯などをリストアップし、高齢者の生活を市民が支えあう仕組みをつくる必要があると考えますが、所見をお伺いします。</p> <p>(2) 例えば、病気で通院している高齢者らへの気遣いや配慮、目配せにかかわる取り組みですが、過度の薬の服用などでも誘発するといわれるうつ病のことも、孤独死をなくしていくためにはもっと地域の人たちの認識と理解が必要ではないかと考えます。個人情報に関するデリケートな難しい問題を含んでいますが、地域社会の中に高齢者の健康に対する理解が深まれば、声掛けなどの取り組みもスムーズにできるのではないかと考えます。このことについて、所見をお伺いします。</p> <p>(3) 特別養護老人ホームなど社会福祉施設と地域社会の相互の交流を深めることで、孤独な高齢者を1人でも減らしていくことができるのではないかと考えますが、所見をお伺いします。</p> <p>(4) 施政方針の中で、平成31年度からの新規事業として「介護家族及び支援者の心の健康事業」を掲げておりますが、どんな事業なのかお伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>2. 認知症患者への対応について</p> <p>認知症は、アルツハイマー病や脳血管障害によるものが多く、高齢者の方に多く見られますが、単なる物忘れとは違って、れっきとした脳の病気であり、認知症の症状は本人はもちろん、周囲の人たちも気づかないところで徐々に進行しながらあらわれます。</p> <p>アルツハイマー病は、1984年に脳内の異常なたんぱく質、アミロイドベータが見つかり、原因物質として有力視され、その後進行をおくらせる薬が実用化され、脳内画像診断などの技術も進んだわけですが、この発症の予防や治療薬にはまだたどり着いていないとのことでもあります。</p> <p>65歳以上の認知症高齢者数と有病率の将来推計についてみると、平成24（2012）年は認知症高齢者数が462</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|---|-----------|
| 6 | 6番 平間知一 | <p>万人と、65歳以上の高齢者の約7人に1人（有病率15.0%）でありましたが、平成37（2025）年には約5人に1人になるとの推計もあり、高齢化が進む日本にとっては大きな問題であり、医療分野としても今後への大きな課題の一つであります。</p> <p>認知症の発症原因のおよそ2割を占める脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などの脳血管障害の場合は、高血圧や高脂血症、さらには肥満などへの対策をとることが予防には有効であり、また、認知症の半数以上を占めるアルツハイマー病でも、生活習慣病対策により発症のリスクを減らすことができるとされていることから、食事や運動、睡眠など生活習慣に気を配ることで認知症になりにくくするとともに、認知症の発症や進行をおくらせることができると言われております。</p> <p>(1) 認知症と診断されている人は、今どの程度の人数がいるのか、またその家族や本人に対して市としてどのような対応しているのか。人数について男女別、年齢別に状況の把握などしてございましたらお伺いします。</p> <p>(2) 家族がプライバシーの維持のために表に出ていない世帯、それで家族が困っている場合の対応については、どのように考えているのでしょうかお伺いします。</p> <p>(3) 認知症地域支援推進員は認知症の方々への理解と支援を目的として認知症サポーター養成講座を開催していますが、現在、何名の市民の方々が講座の受講を修了し、認知症サポーターとなられていますか。また、その方々の現在の活動状況についてお伺いします。</p> <p>3. 健康推進について</p> <p>病気の予防には1次、2次、3次の段階があります。1次予防とは病気の発生そのものを防ぐこと、食事や運動の面でふだんから健康的な生活習慣を心がけることです。2次予防とは病気の早期発見、早期治療です。定期的に検診を受け、病気の芽があれば早い段階で摘み取ってしまうことです。3次予防とは再発の防止、病気にかかったら適切な治療を受け、再発防止に努めることです。</p> <p>本市では国保被保険者の人間ドック事業も積極的に行っていますが、今後は2次予防から1次予防への重点を置いた政策も必要になると考えますが、所見をお伺いします。</p> | 市長 |
| 7 | 13番 菊地忠久 | <p>1. 施政方針について</p> <p>(1) 「教育改革元年」とし、特に学力向上に力を入れ、さまざまな施策に取り組もうとしています。体力の向上や豊かな心を育むことも同じように重要と考えます。</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|--|-----------|
| 7 | 13番 菊地忠久 | <p>どのような姿を目指し、どういった取り組みを行うのかお伺いします。</p> <p>(2) 「しろいし慕心プロジェクト」について</p> <p>① これまでの成果をお伺いします。</p> <p>② 明治維新後の北海道への移住を説明したパンフレットや白石の風景写真をまとめたパンフレットの作成が、どのように魅力発信と交流人口の拡大につながると考えているのか、所見をお伺いします。</p> <p>(3) 食育推進の充実を図るとしてはありますが、具体的な取り組みをお伺いします。</p> <p>(4) 「福島圏域連携推進協議会」について</p> <p>① これまでの実施状況と成果をお伺いします。</p> <p>② 今後どういった成果を目指して参画しているのかお伺いします。</p> <p>③ そのための具体的な取り組みをお伺いします。</p> <p>(5) 移住・交流について</p> <p>① 昨年から、移住交流アソシエイトとして、2名の地域おこし協力隊員が活動を行っていますが、これまでの活動状況と成果をお伺いします。</p> <p>② 今後、どういった活動をしていくのか、どういった成果を期待しているのか、所見をお伺いします。</p> <p>③ 白石市移住交流サポートセンターについて、交流人口拡大と首都圏などからのU I Jターンの推進に対する取り組みと成果をお伺いします。</p> <p>(6) 農産物のブランド化について</p> <p>① 食と農のブランド推進員として1名の地域おこし協力隊員が活動を行っていますが、これまでの活動状況と成果をお伺いします。</p> <p>② ブランド化の現状について、どのような認識をしているか、所見をお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>2. 子供の安心・安全について</p> <p>(1) 「子ども110番の家」について</p> <p>「子ども110番の家」は、PTAや自治体などが主な活動主体となり、子供が危険を感じたときや助けを求めてきた「いざというとき」に、子供を保護して警察などに通報することに協力してくれる家や施設であり、子供たちが駆け込む避難所として、全国各地で取り組みが行われています。しかし、子供たちや保護者が「子ども110番の家」のことを理解していなかったり、知っていても子供たちが、知らない人のところには飛び込めなかったりすると、取り組みの効果が薄くなってしまい、制度の形骸化が危惧されている地域が増加しています。</p> <p>そこで、本市における「子ども110番の家」の取り組みについてお伺いします。</p> <p>(2) 情報モラル教育について</p> <p>子供たちを取り巻く情報にかかわる環境は日々変</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|---------------|---|-----------|
| 7 | 13番 菊地 忠久 | <p>化しており、多くの子供たちが、コンピュータやスマホ、携帯型ゲーム機などを使い、インターネットを自由に利用しています。現在、SNSなどインターネット上での誹謗中傷やいじめ、インターネット上の犯罪や違法・有害情報などの問題が発生しており、こうした問題を踏まえ「情報モラル」について指導することが必要となっています。</p> <p>① 本市における、子供たちとインターネットとのかかわりと有害情報等についての認識をお伺いします。</p> <p>② 情報モラル教育について、本市の取り組みについてお伺いします。</p> <p>3. 第6次白石市総合計画策定について</p> <p>総合計画は、10年後の白石市をどうするのか、10年かけて白石市をどのようにしたいのか、本市の針路を決める重要な計画です。</p> <p>(1) 現在の第5次白石市総合計画に沿ってこれまで8年間、市政運営を行ってきましたが、計画通り実施できた点と計画と実績とが乖離する部分があると思います。現状をどのように分析しているのか、所見をお伺いします。</p> <p>(2) 第6次白石市総合計画策定にあたり、どのような将来像を描き、どういった点を重点項目として考えているのか、現時点での所見をお伺いします。</p> <p>(3) 策定にあたり、総合計画審議会を設置することですが、審議会に10年後、20年後の白石市を担う現在の中学生や高校生の意見を取り入れるべきと考えます。審議会に参加できる環境や意見を吸い上げられる環境、反映できる環境を作るべきと考えますが、所見をお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| 8 | 18番 佐久間 儀郎 | <p>1. 「ふるさと名物応援宣言」について</p> <p>新年度に向け、地方創生推進交付金事業の一環として「地域資源をフル活用した賑わいまちづくり事業」を掲げ、地域ブランド（新白石三白）創出推進事業を提案されています。前年に続き、新たな地域ブランド「新白石三白」として、白のイメージにこだわった一次産品や加工品、料理メニュー、工芸品等のブランド化に向け、白石商工会議所を通じてブランド認定や当該産品を用いて地域活性化を図る事業者を支援するとされています。</p> <p>中小企業庁では、地域資源法（中小企業地域資源活用促進法）改正に伴い、地域ブランドをつくり、地域経済の活性化を進めるためには、地域の実情に通じたさまざまな関係者との連携の軸と成り得る市町村が旗振り役となって、地域を挙げた取り組みを推進していくことが必要であるとしています。</p> <p>そこで、地域ブランド創出の取り組みを促進する観</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|----------------|---|--------------|
| 8 | 18番 佐久間 儀 郎 | <p>点から、中小企業庁は、市町村において地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」を特定し、「ふるさと名物応援宣言」を提唱しています。</p> <p>これは、積極的な情報発信を行っていくことで、地域資源活用事業計画の補助金における優先採択やふるさとプロデューサー育成事業への優先参加、ミラサポ（中小企業経営者をサポートするサイト）での情報発信といった優先措置が受けられるというものです。</p> <p>以上を踏まえて、以下について伺います。</p> <p>(1) まず、市長が述べられている「地域ブランド」の意義・概念について、ご認識をお聞かせください。</p> <p>(2) 本市における地域ブランドの推進に関して、中小企業庁の中小企業地域資源活用促進法に基づく「ふるさと名物応援宣言」を生かして、地域活性化を図る事業者を積極的に支援することを検討されてはどうかと考えますが、市長の所信をお聞かせください。</p> | 市 長 |
| | | <p>2. 学校給食について</p> <p>学校給食は、学校教育活動の一環として実施され、児童・生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるうえで重要な役割を担っています。また、政府の食育推進会議において策定された「食育推進基本計画」においても、学校における食育を推進するため学校給食の充実を図ることが掲げられているなど、その適切な実施を図ることは極めて重要なものと考えます。</p> <p>先日、小学校の昔遊びの行事に参加したところ、給食の試食会もあり、低学年の児童と一緒に学校給食をとる機会を得ました。配膳などの準備から後片付けまでの児童たちの一連の行動は、よく指導が徹底され習慣化されていると感心しました。また集団で食事をする子供たちの様子は、談笑もあり、大変楽しげでありました。</p> <p>ただ、何回もおかずをおかわりする児童がいるかと思えば、主菜の御飯までも残してしまう児童も見受けられ、行事後に、参加した地域住民からは、あの献立で果たして「適量なのか」「栄養は足りているのか」と、いささか心配する声が漏れ聞こえてきました。</p> <p>昨今の食材価格の上昇によって、学校給食にも影響が及んでおり、他市では、限られた予算の中で必要な栄養量を満たすメニューが提供できるよう、1人当たりの肉や果物の分量を減らしたり、食材を例えばアジからししゃもに変更したり、デザートを提供回数を減らしたりといった努力を重ねているようです。</p> <p>本市では、米代だけでなく輸送費の上昇の影響も受けて、副食に使える予算が減り、栄養量を確保できないのではないかと懸念しています。また、残食の課題等も抱えているのではないかと考えます。</p> <p>そこで以下についてお尋ねします。</p> | 市 長 教 育 長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|---------------|--|-----------|
| 8 | 18番 佐久間 儀郎 | <p>(1) 給食の栄養量が国の摂取基準を満たしているのかどうか、現状をどのように把握しているのかお伺いします。</p> <p>(2) 食べ盛り・育ち盛りの子供たちに提供される給食の量が減ってしまうのは残念なことです。食材費に充てる保護者負担の給食費を抑えるためには仕方がないことかもしれません。しかし、中には給食費の値上げに踏み切る自治体もあります。給食費を上げて保護者の負担をふやすのか、メニューのグレードを下げ子供たちに我慢してもらうのか、本当に悩ましい選択です。</p> <p>本市では、この問題の解決をどのように考えているのかをお聞かせください。</p> <p>(3) 給食現場では食べ残しの問題があると聞きました。本市の給食では、どの程度の残食量になっているのか、そして、その処理はどのようにされているのか、廃棄となるものなのかをお伺いします。</p> <p>(4) 食べ残しの問題は、食育の問題と捉えて取り組むべきと考えます。食育基本法により食の教育力、食育の必要性に注目が集まり、学校給食を学校全体で「活きた教材」として活用することがふえてきたと思います。本市の取り組みについてお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| 9 | 7番 管野 恭子 | <p>1. 「SDGs」の積極的推進について</p> <p>SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は「誰ひとり取り残さない」を理念に、2015年9月の国連サミットにおいて、全ての国連加盟国が合意した2030年までに達成すべき課題と、その具体目標を定めたものである。</p> <p>貧困・飢餓・健康・福祉・教育・気候変動・平和・公正などの17分野にわたる目標と、より具体的な達成目標である169のターゲット、さらに目標の達成に向けた進捗状況を測るための230の指標が設けられ、グローバル化が急速に進む社会、経済、環境上のさまざまな課題に対して、世界各国の民や企業、行政が協働して取り組んでいくためのキーワードとなるものである。</p> <p>我が国においても、2016年5月に安倍晋三内閣総理大臣を本部長とし、「SDGs推進本部」を立ち上げ取り組みがスタート、同年、12月に推進に向けた実施指針を策定、2017年12月には官民一体で目標を達成する「アクションプラン(行動計画)2018」を策定するとともに、優れた団体を表彰する「ジャパンSDGsアワード」の第1回表彰式を行い、北海道下川町が総理大臣賞を受賞した。</p> <p>同町は、2007年に自治体運営の指針となる自治基本条例に「持続可能な地域社会の実現」を明記している。また、2011年には、循環型社会の取り組みが評価され、国から環境未来都市に選定された。</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|--|---------|
| 9 | 7番 管野恭子 | <p>同町は、取り組んでいる①森林総合産業の構築、②エネルギー自給と低炭素化、③超高齢化社会への対応を柱としたまちづくり事業により、社会動態減少が緩和され、2009年の高齢化率51.6%が、2016年には生産年齢世代の増加により27.6%に減少し、個人住民税収が16.1%増などの成果を得ている。</p> <p>同町は、これらの事業が、SDGsの理念と合致していることに着目し、2017年から17の目標を自治体政策に取り込む作業を進めている。</p> <p>富山市では、施策の中でSDGsにあたるものについて、17のどの目標に該当するかマークを添付し、自治体として積極的に取り組んでいる姿勢を明確にしている。</p> <p>学校教育においては、今回の学習指導要綱の改正で「持続可能な社会の創り手」の育成が明記され、SDGsを積極的に推進することになっている。</p> <p>政府が推進する地方創生や1億総活躍社会、人づくり改革はSDGsの基本理念に合致するものである。</p> <p>SDGsに積極的に取り組み、社会に価値をもたらす自治体・企業・団体等が高い評価を受ける時にきている。本市においてもSDGsの積極的推進を図るべきと考える。</p> <p>そこで次について質問する。</p> <p>(1) 第6次白石市総合計画は、SDGsの理念を基本にした策定を行うべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 同総合計画の項目毎に、SDGsの目標のどの分野に該当するのかを明記すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) SDGsの17の目標を可能な限り、本市政策に取り込む努力をすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 市長を本部長とした「白石市SDGs推進本部」を立ち上げ、「誰ひとり取り残さない」との理念の啓発と具体的な行動を官民一体となり、取り組んでいくべきと考えるが見解を伺う。</p> | 市長 |
| | | <p>2. 市税等納付にスマートフォンの決済アプリ活用について</p> <p>岩沼市は、2019年4月より、市県民税、国民健康保険税、軽自動車税、固定資産税を対象にスマートフォンの決済アプリを活用した納付ができる市民サービスを開始させる。</p> <p>納税者は、納付書のコンビニエンス収納用バーコードをスマートフォンで読み取り、アプリの決済画面を操作して納税するものである。</p> <p>これは、現在実施しているコンビニエンス納付の一環として行えるものであり、自治体に新たな費用が発生するものではない。</p> <p>岩沼市のほか亘理町・山元町・七ヶ浜町・涌谷町も同様のサービスを実施する予定である。</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|--|---------|
| 9 | 7番 管野恭子 | 本市においても納入環境の向上のために、是非、活用を図るべきと考えるが見解を伺う。 | 市長 |
| | | <p>3. 不育症の周知と患者支援について</p> <p>不育症とは、2回以上の流産、死産や早期新生児死亡（生後一週間以内の死亡）を繰り返し、結果的に子供を持ってない症状とされている。</p> <p>流産の確率は年齢とともに上がるため、出産年齢が高くなっている近年では深刻な問題になっている。</p> <p>厚生労働省の実態調査では、流産は、妊娠の10～20%の頻度で起こると言われている。流産を繰り返す不育症患者は全国で約140万人、毎年約3万人が新たに発症し、妊娠した女性の16人に1人が不育症であると言われている。不育症の原因については、子宮形態異常が7.8%、甲状腺の異常が6.8%、両親のどちらかの染色体異常が4.6%、抗リン脂質抗体症候群が10.2%等で、原因不明は65.3%にもなる。</p> <p>しかし、厚生労働省研究班によると、検査や治療によって、80%以上の方が出産にたどりつけると報告されており、不育症を知り、適正な検査や治療をすれば、多くの命を守ることができるということである。流産の原因となる血栓症や塞栓症に対する治療及び予防のために行う在宅自己注射に用いるヘパリンカルシウム製剤は、平成24年1月から保険適用になり、不育症に悩む女性や家族にとって一助になった。</p> <p>不妊症と比べ、いまだ不育症を知らない人が多く、流産、死産したことによって、心身ともに大きなダメージを受けた女性の4割は強い心のストレスを抱えている。厚生労働省では、平成23年度、不育症の相談マニュアルを作成し自治体に配布し、そして、平成24年10月に全国の相談窓口の一覧表を公開、都道府県毎に不育症相談窓口が設置され、2018年7月現在、65カ所で不育症の相談が可能になっている。不育症の治療には多額の費用がかかることから、公的助成を行っている自治体もある。</p> <p>このようなことから、不育症に悩む方に対して、正確な情報を提供し、心理的な相談や医学的な相談を行い、患者支援の取り組みを行っていくことが必要であると考えます。</p> <p>そこで次について質問する。</p> <p>(1) 不育症について本市では、どのような認識をお持ちか伺う。</p> <p>(2) 気軽に相談できる窓口体制の充実が必要であるが、相談窓口と周知啓発をどのように行っているのか伺う。</p> <p>(3) 不育症の方の検査や治療の多くが保険適用されていないが、支援として経済的負担軽減を図り、治療を受けやすくする不育症の治療費助成制度についての見解を伺う。</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|--|-----------|
| 10 | 16番 松野久郎 | <p>1. 平成31年度施政方針について</p> <p>平成31年度は「第5次白石市総合計画」の9年目になります。これまで、白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現を目指して取り組んでこられたと思います。本市の財政は厳しい状況にありますが、市長は、政策課題を先送りすることなく、白石市が将来にわたり持続可能であり続けることができるよう、各種施策を積極的に推進してまいりますと述べております。このことを踏まえ、「第5次白石市総合計画」に沿って質問いたします。</p> <p>(1) 「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」から</p> <p>① 平成30年度の学校教育の充実では、引き続き学校ICTを推進し、教育効果を高めるとありましたが、その実施状況と成果についてお伺いします。</p> <p>② 平成31年度を「教育改革元年」と位置づけ、さまざまな施策を展開するとありますが、平成30年度の取り組みから転換した理由と平成31年度に取り組む施策がどのような効果を得られ、成果が期待できるとお考えなのかお伺いします。</p> <p>③ 平成30年度においても、白石和紙の自力生産に取り組んでいる市民グループへの支援継続の内容と後世に引き継ぐための方策について取り組んできたと思います。平成31年度にもPRと地場産業工芸品としての販売を推進すると掲げておりますが、平成30年度の成果と平成31年度の取り組みとの相違点についてお伺いします。</p> <p>(2) 「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」から</p> <p>① 平成31年度の新規事業として、「母子・乳幼児等メンタルヘルス事業」や「介護家族及び支援者のこころの健康事業」「医療用ウィッグ購入費助成事業」を掲げました。それぞれ総合計画に沿った市民に優しい事業だと思いますが、平成31年度に掲げた理由について、所見をお伺いします。</p> <p>② 本市として初めてとなる「第1期白石自死対策計画」について、国の自殺総合対策大綱の基本理念である「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」に沿って策定されたと思いますが、本市の特徴についてお伺いします。</p> <p>(3) 「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち」から</p> <p>① 創設7年目となる「まちづくり交付金」や「城花町しろいし事業」の継続は、市民主導の地域づくりとして、重要な事業だと思います。白石の魅力アップに向けた取り組みを企画・実施するとともに、地域で活躍できる人材の育成を図るとありますが、具体的な育成方法についてお伺いします。</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|--|-----------|
| 10 | 16番 松野久郎 | <p>② 本市と柴田町、仙台大学で設立した「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」に、本年より東京都立川市の協力が得られるようになりました。立川市は、国立市にある東京女子体育大学・東京女子短期大学と相互の発展及び充実に図り、文化・教育・学術・スポーツ・地域振興・まちづくり等の分野において、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的に、包括的な連携・協力に関する協定を平成27年に締結しています。本市も仙台大学との連携・協力に関しての協定を締結することを提案したいと思いますが、市長の所見をお伺いします。</p> <p>(4) 「産業に活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」から</p> <p>① 企業誘致について、市長は企業立地セミナー参加などトップセールスに積極的に取り組んでおります。今後、企業の要望などを踏まえ、新たな工業団地の造成に向けて検討を開始するとありますが、これまでオーダーメイド方式を提唱してまいりました。その方針を変えるのかお伺いします。</p> <p>② 「農地中間管理事業」を活用した農地集積を推進し、生産現場の強化と耕作放棄地の発生防止に努めると掲げてあります。担い手の高齢化や後継者不足等、非常に重要と考えております。本市については、人・農地プラン検討会を農業関係機関の委員及び役員、農業を営む方などによって構成され、市長が地域で作成された「人・農地プラン」を決定するに当たり、プランの妥当性等を検討するための会議とされていますが、これまでの進捗状況と今後の取り組みについて、市長の所見をお伺いします。</p> <p>(5) 「美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち」から</p> <p>水道事業において、平成31年度は効率的かつ効果的に施設を管理運営するために「アセットマネジメント計画」を策定し、持続可能な水道事業の構築に努めるとともに、自己水源の活用による公益水道受水費の削減に取り組むと掲げております。先日の議員説明会で、「上下水道事業の広域化について」の検討状況の説明がありましたが、一体的に事業に取り組む広域化の推進について、市長の所見をお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>2. いじめの防止等に関する条例の制定について</p> <p>県内においても、いじめを受けていた中学生が自ら命を絶つという重大かつ深刻な事態が発生しました。現在、本市においては、いじめ防止対策推進法に基づき「白石市いじめ問題対策連絡協議会等条例」これに伴う「専門委員会設置要綱」「連絡協議会設置要綱」</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|--|-----------|
| 10 | 16番 松野久郎 | <p>策定しております。また、市内の学校が策定するいじめ防止基本指針があると思いますが、より適切かつ迅速に対応できることを目的に質問します。</p> <p>(1) 現在、具体的ないじめ防止対策を市内の全市立学校でどのように実施しているかお伺いします。</p> <p>(2) 未来の子供たちの笑顔のために、市民の皆様と認識を共有し、社会全体でいじめ防止に取り組んでいくために、白石市のいじめの防止等に関する条例を制定することが必要と考えますが、いかがかお伺いします。</p> <p>3. 中学校統廃合最終の準備状況と中学校跡地の利用方法について</p> <p>南中学校、白川中学校の閉校式典が開催され、年度末でそれぞれ統廃合が実施されます。南中学校及び白川中学校の統廃合最終の準備状況と斎川小学校及び南中学校、白川中学校跡地利用についてお伺いします。</p> <p>(1) 南中学校、白川中学校について、閉校式典が行われました。これまで行われてきた各専門部会や準備委員会では、今後どのような計画となっているのかお伺いします。</p> <p>(2) 斎川小学校の跡地利用について、どのような検討を進めているのか、状況と今後の進め方についてお伺いします。</p> <p>(3) 南中学校、白川中学校の跡地利用について、検討委員会等を設置するのか、今後の進め方についてお伺いします。</p> | 市長 教育長 |
| 11 | 3番 伊藤勝美 | <p>1. 施政方針について</p> <p>施政方針において、「平成31年度は平成から新たな元号に切りかわるとともに、消費税率の引き上げや幼児教育・保育の無償化が実施されるなど、大きな転換の年となる。また、本市の財政は厳しい状況にあり、市政課題を先送りすることなく、白石市が将来にわたり持続可能であり続けることができるよう、各種施策を積極的に推進してまいります」と述べております。</p> <p>そこで、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 平成31年度の予算編成をするにあたり、白石市民の暮らしや白石市の地域経済の現状をどのように把握されているのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 「本市の財政は厳しい状況にあり、市政課題を先送りすることなく」と述べられておりますが、本市の財政状況及び市政課題をどのように認識されているのか、お聞かせください。</p> <p>(3) 消費税率の引き上げへの対応について</p> <p>① 消費税率引き上げによる本市の経済への影響をどのように考えているのか、本市の認識をお聞かせください。</p> <p>② 消費税率引き上げにより、市内の事業者の対応</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|--|-----------|
| 11 | 3番 伊藤勝美 | <p>が迫られます。想定される混乱を避けるためにも相談体制を整える必要があると考えますが、見解をお聞かせください。</p> <p>③ 消費税率引き上げの目的は、増大する社会保障費の安定財源を確保することにあります。その一方で、消費税は所得が低い人ほど負担が重くなる逆進性を持つと理解されています。</p> <p>そこで国は、軽減税率の対象外である生活必需品への負担を和らげる支援策が必要であるとして、購入額に一定額を上乗せして買い物ができるプレミアムつき商品券の発行を行う予定になっています。購入限度額2万円で、2万5,000円分の買い物ができる商品券で、これは、住民税非課税世帯と、ゼロ歳から2歳の子を持つ世帯が購入対象になります。額面も1枚当たり500円や1,000円など小口で設定され、使い勝手がよい仕組みとなるようです。有効期限は、2019年10月から2020年3月までの半年間とされていますが、このプレミアムつき商品券の販売方法や利用店舗の範囲など運用について、どのように考えているのか、見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 幼児教育・保育の無償化について</p> <p>① 国は、本年10月から幼児教育・保育の無償化を実施するための「子ども・子育て支援法改正案」を決定しています。本市はこの幼児教育・保育の無償化の導入をどのように認識しているのか、また、国がこの幼児教育・保育無償化の財源を消費税の増税で賄うとしていることに対する認識をお聞かせください。</p> <p>② 昨年12月28日に関係閣僚合意となった「幼児教育・高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針」で幼児教育無償化の制度概要が明らかになっています。</p> <p>幼児教育の無償化で本市の幼児教育はどう変わるのか、現時点におけるこの制度の概要について、簡潔にお聞かせください。</p> <p>③ 本市の幼稚園、保育所を利用している子供の利用料について、現在とどう変わるのか、また、その中で特にゼロ歳から2歳児の子供の利用料について、無償化となる世帯数と割合はどれくらい予想されるのか、お聞かせください。</p> <p>④ 無償であるはずなのに給食費が自己負担となるなど、今まで完全無料だった子供が逆に給食費有料となり負担がふえる事例もあるようですが、このことについてどう考えているのか、見解をお聞かせください。</p> <p>⑤ 今回の無償化で保育を希望する保護者、保育時間の延長を望む保護者がふえることが予想されますが、見解をお聞かせください。</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|---|-----------|
| 11 | 3番 伊藤勝美 | <p>⑥ 無償化は、「対象となる子育て世代の、直接的な利用料負担がなくなる」のであって、「それらの負担を市全体のサービスの中で調整しなければならない」と考えます。したがって、2020年度から本格的な幼児教育の無償化が始まれば、2019年度から3カ年で重点的に取り組む「集中改革プラン」の歳出削減による財政健全化の取り組みが、幼児教育の無償化により打ち消され、財政調整基金の枯渇に向けた時計の針が再度加速する、という事態も想定されると危惧しますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(5) 一つ目の目標の「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」に、「歴史ある貴重な白石和紙を後世に引き継ぐため、白石和紙の自力生産に取り組んでいる市民グループへの支援を継続するとともに、他に類をみない和紙工芸品である白石紙子をPRし、地場産業工芸品としての販売を推進します」と述べられておりますが、どのような支援継続の仕方、PRの方法、販売の推進を考えているのか、お聞かせください。</p> <p>(6) 五つ目の目標の「美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち」に、「平成31年度は効率のかつ効果的に水道施設を管理運営するため、アセットマネジメント計画を策定し、持続可能な水道事業の構築に努めるとともに、自己水源の活用による広域水道受水費の削減に取り組めます」と述べられておりますが、具体的にどのような取り組みをなされるのか、お聞かせください。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>2. 児童虐待防止について</p> <p>野田市の児童虐待死事件は、連日報道もされる中で虐待した保護者の責任と同時に行政、市教育委員会の責任も問われる重大性を帯びることになりました。またしても繰り返された悲惨な児童虐待。どうすれば虐待を止め、最悪の事態を防ぐことができるのか、今こそ社会全体の責任が厳しく問われていると考え、本市としての認識をお尋ねします。</p> <p>(1) 児童虐待防止の周知について、自治体によってはホームページ内に、「虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合、市町村または児童相談所に通告する法律上の義務があります。子どもや保護者の支援にもつながります」とし、連絡先として「189 児童相談所全国共通ダイヤル」「子ども・若者相談センター」「休日夜間児童虐待通報ダイヤル」「警察署」などを紹介、周知しておりますが、本市では、周知についてどのようになさっているのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 児童虐待防止法第5条にある「早期発見努力」では、「学校の教職員、保健師などは児童虐待に対し</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|-----|------------|--|--------------|
| 1 1 | 3番 伊藤勝美 | <p>て早期発見に努めなければならない。」とされていますが、本市ではこういった特別な手立てを講じているか、お聞かせください。</p> <p>(3) 児童虐待防止法第14条の「親権の行使に関する配慮等」では、「養育者がしつげだとしても適切な行使に配慮しなければならない」として児童相談所が虐待として対応できるようになったとされています。本市の各部署や児童相談所での共通認識はどのようになっているのか、また、ケースによって判断は異なりますが、白石市としての「対応の基本」や「判断の基準」はどのように共有されているか、お聞かせください。</p> <p>(4) 今回の野田市の事件では、児童虐待の加害者である父親の恫喝に対し、市職員、教育委員会が身の安全のために、児童の個人情報を手渡しています。白石市（教育委員会）では「個人情報の保護」について、どのような立場を貫くのか、お聞かせください。</p> <p>(5) この事件を機に、本市の児童虐待防止に向けた抜本的な対策をとっていただきたいと考えますが、見解をお聞かせください。</p> | 市長 教育長 |
| 1 2 | 9番 大野栄光 | <p>1. 新元号移行について</p> <p>平成も残すところ後わずかとなり、5月より新元号に移行し、30年ぶりの歴史的節目に立ち会うことになりました。どんな元号になるのかと期待するところです。</p> <p>平成元年、消費税が3%で始まり、東西ドイツが統一し、オウム・サリン事件、自民・社会党の村山連立内閣の誕生に驚きました。また、全国的に大規模災害にも見舞われました。阪神淡路大震災、8年前になる東日本大震災、原発被害、熊本県・北海道での地震被害と記憶に新しく、火山噴火と合わせ、地球活動期に入ったのではと心配されました。</p> <p>そんな平成時代が過ぎようとしませんが、新元号に移行する際に行政としての作業をお伺いします。</p> <p>2. 水力発電について</p> <p>8年前の大震災により原発事故が発生し、原子力エネルギーの怖さが知らされました。地球温暖化による温室ガスを排出しない再生可能エネルギーとして、ソーラーや風力といった代替エネルギーが注目されています。</p> <p>市では、このたび福岡地区に官民連携による小水力発電が計画されました。蔵王水系は本市において、まだまだ潜在水量を多量に有していますが、以下の点についてお伺いします。</p> <p>以前にも進言していますが、南部山仙広送水管は水量と落差が大きく、企業として成り立つものと思われる</p> | 市長 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|------------|---|-----------|
| 12 | 9番 大野栄光 | <p>ます。また、白石川や三住地区を源流とする垂清川は水流量も一定し落差もあり、発電能力を有していると思います。市としても、小水力発電事業の実施について検討してはいかかがお伺いします。</p> | 市長 |
| | | <p>3. 児童虐待について・児童の権利について 「先生、どうにかできませんか」10歳の少女は担任に父親の暴力からの救いを求めた。そんな少女の願いも虚しく幼い命は守られることなく途絶えてしまった。「秘密は守ります」というアンケートに一途な願いを込めて一生懸命に訴えた少女は暴力という漆黒の密室から抜け出そうと毎日を耐え忍び、どうにか希望の灯を頼りに心の内を打ち明けた。亡くなった後の少女の胃の中には食べ物は入っていなかったという。社会は豊かになり「衣・食・住」が足りて恵まれた生活を過ごしている。そんな社会の片隅で起きた今回の事件、余りに悲しく憤りが込み上げてくる。テレビに映る学校での活動動画が健気に跳んだり跳ねたりと明るく振る舞う姿は一時の逃避の場だったのか。国はあらゆる支援を行っている中、子供の幸せの権利は本当に守られているのか。他市で起こった出来事とは思えなく見解をお聞かせいただきたくお伺いします。 (1) この件についての教育長の見解をお聞かせください。 (2) 今回の出来事、担任の先生は少女の目線には暴力を解決できる神様のように映っていたと思います。多くの大人、社会人、組織が関わり、守ってやる事ができなかった要因はどこにあったのか思いの程をお聞かせください。 (3) 保護者が児童に対して懲戒権をかざし「しつけ」として暴力行為を行う。子供がそんな親の暴力を幼い頃から受けている類似した事例が本市に起こった場合の対応はどのようになっているのか、お尋ねいたします。</p> | 市長 教育長 |
| | | <p>4. 自主財源について 今議会冒頭、行政報告において集中改革プラン「第四次改訂版」を策定し、引き続き行政改革に推進すると決意の程を述べられました。 市民に対し質の高い行政サービスを提供していくため、向こう3年間、自主財源の確保、経費の節減の施策を示されました。少子高齢化に人口減少とこの先財政上厳しい舵取りを強いられると思います。我々議員も惜しまず協力していきたいと思います。 昨年は、市民が利用する施設の値上げや納税組合への協力金の削減等が行われました。また、市の保有財産の処分の方針も示され、自主財源の底上げとも受け取れる施策が行われました。 そこで、市保有財産も各種多様に所有されてると思</p> | 市長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|--------------|---|-----------|
| 12 | 9番 大野 栄光 | <p>いますが、民間が払い下げ希望を望んだ場合、どのような手続きで答えてくれるのかお尋ねします。</p> | 市長 |
| 13 | 15番 佐藤 秀行 | <p>1.「施政方針」について 白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」と「市民の笑顔あふれる白石」の実現を目指して、全力を尽くし、各種施策を積極的に推進していきます。「学校教育の充実」「子育て支援」「移住・定住の促進」などの分野で独自性を持った事業を多面的に推進しますとしています。</p> <p>そのことについて、次の点お伺いします。</p> <p>(1) 教育改革元年について</p> <p>① 学校教育の充実は、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子供たちに対し、確かな学力の育成を図るため、平成31年度を「教育改革元年」と位置づけ、さまざまな施策を展開するとありますが、そのことについての市長の思いと施策についてお伺いします。</p> <p>② 2018年度に全国10カ所でスクールロイヤー制度を導入しました。これは、さまざまなトラブルについて学校が弁護士に相談し、アドバイスを受けることで効率的な問題解決を目指すものです。保護者からの要望への対応をスクールロイヤーが担当することによる、教員の精神的負担の軽減という効果も期待されるものです。本市においても、このような取り組みも必要ではないかと考えます。制度の導入に向けて、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 特別支援教育等支援員について</p> <p>① 幼稚園や小中学校での生活介助や学習支援を行うための「特別支援教育等支援員」を継続配置し、支援を必要とする子供たちにきめ細やかな支援を行うとしています。支援員の必要性について、どのようにお考えかお伺いします。</p> <p>② 支援員を学校の実情、要望に応じ、継続配置、適正配置、またふやしていくことも必要であると考えます。市長の見解をお伺いします。</p> <p>(3) 中学生の海外派遣事業について</p> <p>① 派遣生徒を6名から8名に拡充して積極的に意欲のある生徒を派遣し、国際感覚豊かな青少年の育成を図るとしています。以前オーストラリアのジョージズ・リバー市との姉妹都市交流の再開は難しいと判断し、再度意向を確認したうえで今後の姉妹都市締結実施の可否について結論を出したいとしています。その後の状況についてお伺いします。</p> <p>② 平成28年から訪問先をカウラ市に変更し親善交流が図られています。しかし、シドニーからの移動時間が長く、カウラ市との姉妹都市提携についても難しい状況にあります。今後の姉妹都市提携</p> | 市長 教育長 |

| 順位 | 質問者 | 質問事項・要旨 | 答弁を求める者 |
|----|-------------|--|-----------|
| 13 | 15番 佐藤秀行 | <p>について、ベラルーシ共和国との交流も含めて、どのように進めていこうとお考えなのかお伺いします。</p> <p>(4) 中心市街地循環便について</p> <p>① 昨年10月から開始した「中心市街地循環便」は、平成31年度も試験運行を継続し、年間を通じた乗車人数などの推移を見ながら、今後の継続運行を検討するとしています。開始から5か月が過ぎました。1日あたり1便あたり、また毎月の平均乗車人数等、これまでの運行を通しての循環便に対する、分析・考察についてお伺いします。</p> <p>② 循環便利用促進に向けた周知方法を含め、今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>2. エアコン設置について</p> <p>今年の夏の本格的稼働に向けて、随時各小中学校にエアコンを設置していき、教育環境の向上を図るとしています。</p> <p>このことについてお伺いします。</p> <p>(1) エアコン設置によって、例年以上の多額の電気料金がかかります。電気代節約・節電等のためにどのような施策、手立て等を考えているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 普通教室だけではなく、特別教室についても設置を検討するということですが、どのようにお考えなのかお伺いします。</p> | 市長 教育長 |